



～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

学校だより

たちばな

2024年1月9日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

上を向いてひたすら上る、辰（たつ）の年

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします。

今年“たつ”年。昨年の、ピョンとひと蹴り跳ねては小さな勇気と小さなチャレンジを積み重ね力をつけた“うさぎ”から、バトンを受け継ぎました。たつは、十二支の中で唯一架空の動物です。架空は理想とも置き換えて考えると夢がありますね。天空めがけて雷も雲もかき分けて上へ上へと昇りゆく龍にあやかって、勢いのある年になると信じています。

そんな志をもって迎えた元旦、石川県能登地方を大地震が襲いました。羽田では航空機の事故もありました。旅行や帰省で被災された方やご親類、友人はおられなかったでしょうか。最も和やかにくつろいでいるはずの日時にも容赦がなく、自然は残酷です。

報道で映し出される惨状や、懸命な救助活動を目にする度に、自分は安穏と過ごしていてよいのだろうかという思いに駆られる人が多いと思います。自分もその一人です。しかし災害救助や支援をよく知る人は「まずは今の平常の生活を精いっぱい楽しんで生きること」と言われます。私たちも南海トラフがいつ動くかわからないという地域に暮らしています。今、命があることに感謝し、家族を大切に、悔いの残らないよう日々を生きていきましょう。その上で、阪神淡路大震災による「1・17を忘れない」避難訓練などを通して、命を守る行動について話し合い、物や心の準備に備えましょう。勉強も学校も、当たり前だと思いつくしんどく感じることもあるかもしれませんが、いざ勉強できないとなると勉強がしたいと思うものです。学びで身に付いたことは、物と違い、誰によってもどんな力によっても決して盗られることはありません。良書を読み、人の良いところを見て、良い学びを吸収し、人としての品性を育てたいものです。

辰年にあやかって、「どうせ自分には無理」「失敗したらどうしよう」といったリミッターを、はずしてみませんか。「どこまでやれるか、まずはやってみよう！」と、上を向いて失敗をおそれず前に進む、そんな仲間の姿を互いに認め合い励まし合う立花っ子でいましょう。今でも「ドンマイ！」などと友だちを励ます立花っ子の姿をよく見かけます。1月17日にはオープンスクールがあります。授業の様子や休み時間の様子をご覧ください。今年の「1・17を忘れない」避難訓練は、午前中に行います。昨年の終わりにマンホールトイレも設置されました。尼崎市の中心部にある本校は、子どもたちや地域の方々の避難に加え、南から水平避難される人も受け入れないといけなんでしょう。現実をイメージしながら命を守る訓練としたいと思います。

“たつ”は、龍、辰、竜の他、音としては立つ、建つ、発つ、起つ、達等といった新たなスタートや、凛々しい決意、成就を表す字が多いようです。一方、悪い誘いやゲームのしすぎ等には、絶つ、断つ、で心を強くもちたいものですね。

みなさんは、今年、どの“たつ”を選びますか？

大谷選手からのグローブが届きました。
ボールを準備中なので、楽しみに
待っててください。

